

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エービーシー・マート
 コード番号 2670 URL <http://www.abc-mart.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小島 穰
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月9日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 03-3476-5452
 平成26年11月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	108,017	15.1	23,466	23.5	23,806	24.5	14,138	33.1
26年2月期第2四半期	93,814	21.7	18,999	13.4	19,126	10.0	10,623	7.4

(注)包括利益 27年2月期第2四半期 13,661百万円 (4.2%) 26年2月期第2四半期 13,105百万円 (29.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	187.78	171.41
26年2月期第2四半期	141.09	128.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	214,146	143,322	66.7	1,898.36
26年2月期	196,881	131,919	66.8	1,747.10

(参考)自己資本 27年2月期第2四半期 142,935百万円 26年2月期 131,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	25.00	—	30.00	55.00
27年2月期	—	40.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	213,000	13.3	40,600	19.0	41,200	18.3	24,350	21.8	323.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、別添資料 5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期2Q	75,294,429 株	26年2月期	75,294,429 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年2月期2Q	164 株	26年2月期	164 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	75,294,265 株	26年2月期2Q	75,294,265 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

決算データ資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年8月31日まで)における事業環境は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に企業収益や雇用環境が改善し、緩やかに景気の回復が見られるようになりました。しかしながら、消費税率引上げに伴う影響や円安による原材料価格の上昇などが不安視され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

シューズ業界につきましては、消費税増税による駆け込み需要とその反動減があり、また一部で商品単価の上昇が見られたものの、天候要因もあり厳しい状況となりました。

このような状況下、当社グループは、スポーツシューズを中心にプロパー販売の強化や自社商品の販売強化に努めました。上半期の出店につきましては、国内外合わせて、35店舗の新規出店を行いました。この結果、当社グループの店舗数は、954店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は前年同期比15.1%増の1,080億17百万円、営業利益は前年同期比23.5%増の234億66百万円、経常利益は前年同期比24.5%増の238億6百万円、四半期純利益は前年同期比33.1%増の141億38百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 国内

商品につきましては、メンズ、レディースともにランニングシューズやファッションスニーカーといったスポーツシューズが好調となりました。また、キッズシューズもスニーカーを中心に平均単価が上昇し好調に推移しております。

店舗展開におきましては、上半期で24店舗の出店を行い、当四半期末における国内店舗数は769店舗(閉店4店舗)となりました。春には、レディースの新業態店舗として「Charlotte(シャルロット)」を2店舗、新宿と渋谷に出店いたしました。既存店におきましては、増床を含めた改装を26店舗(うち増床10店舗)実施いたし、既存店の強化を行いました。

上半期における国内店舗の売上高増収率(インターネット販売を含む。)につきましては、全店で前年同期比12.7%増、既存店で前年同期比8.5%増となりました。当四半期についても、全店で前年同期比8.5%増、既存店で前年同期比4.9%増となりました。プロパー販売が好調であったことから、既存店の客単価が前年同期比で5%以上の増加となりました。

これらの結果、国内における売上高は前年同期比13.2%増の837億99百万円、営業利益は前年同期比19.6%増の211億75百万円となりました。

② 海外

海外の店舗展開につきましては、韓国で10店舗、米国で1店舗の新規出店を行いました。当四半期末時点(平成26年6月30日時点)の店舗数は、韓国154店舗、台湾27店舗、米国4店舗となりました。(閉店 韓国3、台湾1)なお、海外連結子会社はいずれも12月決算であります。

海外の業績につきましては、アジアにおけるスポーツシューズの販売が好調となり、韓国の売上高は前年同期比33.8%増の180億65百万円、台湾は前年同期比28.2%増の12億27百万円となりました。米国につきましては、卸売が好調ではあるものの、北米での厳冬による物流停滞等が影響し前年同期比6.2%減の53億6百万円となりました。

これらの結果、海外における売上高は前年同期比22.3%増の246億円、営業利益は前年同期比77.2%増の23億円となりました。

品目別販売実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期比 (%)
スポーツ	45,331	56,049	23.6
レザーカジュアル	16,588	17,245	4.0
レディース	10,913	11,614	6.4
キッズ	5,311	6,071	14.3
ビジネス	5,693	5,872	3.1
サンダル	4,510	5,018	11.3
その他	5,465	6,144	12.4
売上高合計	93,814	108,017	15.1

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
2 上記金額は、国内及び海外の合計で表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ156億72百万円増加し、1,452億14百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加による現金及び預金の増加107億19百万円、及びたな卸資産の増加19億52百万円等によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億93百万円増加し、689億31百万円となりました。主な要因は、新規出店及び改装等に伴う有形固定資産の取得による増加19億78百万円及び敷金及び保証金の増加8億24百万円、のれん及び商標権の償却及びそれらの為替の影響等による減少11億48百万円等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ58億62百万円増加し、708億24百万円となりました。主な要因は、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったこと等による支払手形及び買掛金並びに設備関係支払手形の増加36億91百万円、未払法人税等の増加25億70百万円、及び借入金の減少13億54百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ114億3百万円増加し、1,433億22百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の四半期純利益の計上による増加及び配当金の支払による減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ107億28百万円増加し、894億83百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、192億2百万円の収入（前年同期比55億1百万円収入増）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益236億20百万円、減価償却費19億10百万円、売上債権の増加額23億23百万円、たな卸資産の増加額20億65百万円、仕入債務の増加額26億83百万円、及び法人税等の支払による支出68億49百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、49億1百万円の支出（前年同期比2億76百万円支出増）となりました。この主な要因は、新規出店及び店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出38億33百万円、敷金及び保証金の差入による支出11億69百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、36億3百万円の支出（前年同期比16億89百万円支出減）となりました。この主な要因は、借入金の純減少額13億37百万円及び配当金の支払による支出22億55百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上半期の連結売上高は、スニーカートレンドにより国内外の既存店が好調であったこと等から、当初計画を70億円超上回る結果となりました。

下半期につきましても、この傾向が続くものと予想し、好調なカジュアルスニーカーを軸に、メンズではブーツスタイルの刷新、レディースでは、付加価値をつけた商品をご提供し、単価アップを目指してまいります。品質重視の高価格帯商品、生産コストを抑えた廉価帯商品、また従来よりもワンランク上の品質でお求めやすい価格帯の商品、といった価格帯別の商品戦略を引き続き実施してまいります。

国内の出店計画につきましては、当初60店舗の出店を計画しておりましたが、来年春への計画変更となった商業施設が多数あるため、下半期出店16店舗、通期で40店舗の出店に計画を変更しております。改装につきましては、好立地への移転、増床を伴う改装も積極的に行ってまいります。海外の出店につきましては、韓国を中心に下半期に10店舗程度予定しております。

また、既存店の強化に注力し、価格帯の広がりに合わせて商品構成の見直しやインターネットを活用した実店舗での販売強化に努めてまいります。

以上の見通しに基づき、平成27年2月期の通期の連結業績は、売上高は前期比13.3%増の2,130億円、営業利益は前期比19.0%増の406億円、経常利益は前期比18.3%増の412億円、当期純利益は前期比21.8%増の243億500万円を見込んでおります。

なお、平成26年4月9日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりであります。

① 連結通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	203,000	35,800	36,300	21,500	285.55
今回修正予想 (B)	213,000	40,600	41,200	24,350	323.40
増減額 (B - A)	10,000	4,800	4,900	2,850	37.85
増減率 (%)	4.9	13.4	13.5	13.3	13.3
前期実績	188,045	34,126	34,814	19,989	265.48

(ご参考)

② 個別通期予想

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	153,300	32,550	18,800	249.69
今回修正予想 (B)	159,300	36,400	21,200	281.56
増減額 (B - A)	6,000	3,850	2,400	31.87
増減率 (%)	3.9	11.8	12.8	12.8
前期実績	145,387	31,907	18,105	240.47
当第2四半期 累計期間実績	83,544	21,435	12,569	166.94

※業績予想に関する留意事項

上記の業績予想に関しましては、現時点で得られた情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,884	89,603
受取手形及び売掛金	6,463	6,741
商品及び製品	38,962	40,763
仕掛品	13	13
原材料及び貯蔵品	479	631
繰延税金資産	1,414	1,430
その他	3,355	6,062
貸倒引当金	△30	△31
流動資産合計	129,542	145,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,758	24,169
減価償却累計額	△10,980	△11,684
建物及び構築物(純額)	11,778	12,485
工具、器具及び備品	8,012	7,664
減価償却累計額	△4,923	△4,800
工具、器具及び備品(純額)	3,089	2,863
土地	17,696	19,024
建設仮勘定	90	262
その他	593	615
減価償却累計額	△463	△487
その他(純額)	129	128
有形固定資産合計	32,784	34,763
無形固定資産		
商標権	2,682	2,428
のれん	7,195	6,401
その他	1,770	1,671
無形固定資産合計	11,649	10,501
投資その他の資産		
投資有価証券	125	54
関係会社株式	94	102
長期貸付金	2,575	2,529
敷金及び保証金	18,960	19,784
その他	1,150	1,196
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	22,904	23,667
固定資産合計	67,338	68,931
資産合計	196,881	214,146

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,551	11,921
短期借入金	3,278	2,425
1年内返済予定の長期借入金	1,002	1,001
未払法人税等	7,113	9,684
賞与引当金	654	1,003
引当金	234	210
資産除去債務	26	14
設備関係支払手形	778	1,099
その他	5,722	6,469
流動負債合計	27,362	33,829
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	33,000	33,000
長期借入金	1,500	1,000
引当金	658	714
資産除去債務	243	258
その他	2,197	2,022
固定負債合計	37,599	36,994
負債合計	64,961	70,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,482	3,482
資本剰余金	7,488	7,488
利益剰余金	112,310	124,190
自己株式	△0	△0
株主資本合計	123,281	135,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	10
為替換算調整勘定	8,241	7,763
その他の包括利益累計額合計	8,265	7,774
少数株主持分	372	386
純資産合計	131,919	143,322
負債純資産合計	196,881	214,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	93,814	108,017
売上原価	40,987	47,407
売上総利益	52,827	60,609
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,002	1,138
広告宣伝費	3,309	3,244
保管費	995	1,137
役員報酬及び給料手当	9,142	9,932
賞与	226	315
賞与引当金繰入額	637	998
法定福利及び厚生費	1,189	1,379
地代家賃	8,790	9,891
減価償却費	1,877	1,910
水道光熱費	998	1,099
支払手数料	1,683	2,007
租税公課	484	417
貸倒引当金繰入額	3	2
のれん償却額	496	548
その他	2,991	3,119
販売費及び一般管理費合計	33,827	37,143
営業利益	18,999	23,466
営業外収益		
受取利息	33	84
為替差益	8	47
賃貸収入	311	364
広告媒体収入	26	30
その他	142	119
営業外収益合計	523	646
営業外費用		
支払利息	29	22
賃貸費用	156	175
デリバティブ評価損	152	—
その他	58	108
営業外費用合計	397	307
経常利益	19,126	23,806

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産除却損	70	83
減損損失	107	106
商品廃棄損	85	—
デリバティブ解約損	1,051	—
特別損失合計	1,314	190
税金等調整前四半期純利益	17,811	23,620
法人税、住民税及び事業税	7,329	9,559
法人税等調整額	△107	△104
法人税等合計	7,221	9,454
少数株主損益調整前四半期純利益	10,590	14,165
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△33	26
四半期純利益	10,623	14,138

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,590	14,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△12
為替換算調整勘定	2,511	△490
その他の包括利益合計	2,514	△503
四半期包括利益	13,105	13,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,110	13,648
少数株主に係る四半期包括利益	△5	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,811	23,620
減価償却費	1,877	1,910
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	349
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	1
受取利息及び受取配当金	△34	△85
支払利息	29	22
為替差損益(△は益)	△47	△35
デリバティブ評価損益(△は益)	152	—
デリバティブ解約損	1,051	—
固定資産除売却損益(△は益)	70	78
減損損失	107	106
売上債権の増減額(△は増加)	△1,743	△2,323
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,708	△2,065
仕入債務の増減額(△は減少)	3,641	2,683
その他	1,927	1,742
小計	21,132	26,006
利息及び配当金の受取額	22	68
利息の支払額	△28	△22
法人税等の支払額	△7,425	△6,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,700	19,202
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,836	△3,833
有形固定資産の売却による収入	1	5
無形固定資産の取得による支出	△170	△133
店舗撤去に伴う支出	△36	△45
子会社株式の取得による支出	—	△8
貸付けによる支出	△1,730	△55
貸付金の回収による収入	42	55
敷金及び保証金の差入による支出	△1,153	△1,169
敷金及び保証金の回収による収入	309	271
その他の支出	△67	△61
その他の収入	15	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,625	△4,901
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,677	△835
長期借入金の返済による支出	△501	△501
配当金の支払額	△2,103	△2,255
その他の支出	△11	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,293	△3,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,812	10,728
現金及び現金同等物の期首残高	68,772	78,755
現金及び現金同等物の四半期末残高	72,584	89,483

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	73,812	20,002	93,814	—	93,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	237	116	354	△354	—
計	74,050	20,118	94,169	△354	93,814
セグメント利益	17,707	1,298	19,005	△5	18,999

(注) 1 セグメント利益の調整額△5百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	83,477	24,539	108,017	—	108,017
セグメント間の内部 売上高又は振替高	321	60	382	△382	—
計	83,799	24,600	108,400	△382	108,017
セグメント利益	21,175	2,300	23,475	△8	23,466

(注) 1 セグメント利益の調整額△8百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2015年2月期 第2四半期 決算データ資料
(期間: 2014年3月1日~2014年8月31日)

1. 連結経営成績

(単位: 百万円,%)

	2011年8月Q2期			2012年8月Q2期			2013年8月Q2期			2014年8月Q2期		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	69,722	100.0	14.1	77,057	100.0	10.5	93,814	100.0	21.7	108,017	100.0	15.1
売上総利益	40,510	58.1	13.6	45,150	58.6	11.5	52,827	56.3	17.0	60,609	56.1	14.7
販管費合計	26,567	38.1	16.9	28,392	36.8	6.9	33,827	36.1	19.1	37,143	34.4	9.8
広告宣伝費	3,380	4.8	16.7	3,176	4.1	-6.0	3,178	3.4	0.1	3,126	2.9	▲1.6
人件費	9,235	13.2	14.9	9,683	12.6	4.9	11,498	12.3	18.7	12,971	12.0	12.8
地代家賃	6,660	9.6	16.6	7,564	9.8	13.6	8,690	9.3	14.9	9,781	9.1	12.6
減価償却費	1,236	1.8	13.8	1,394	1.8	12.8	1,884	2.0	35.2	1,914	1.8	1.6
その他	6,055	8.7	21.3	6,573	8.5	8.6	8,576	9.1	30.5	9,349	8.7	9.0
営業利益	13,942	20.0	7.7	16,758	21.7	20.2	18,999	20.3	13.4	23,466	21.7	23.5
経常利益	13,219	19.0	5.9	17,380	22.6	31.5	19,126	20.4	10.0	23,806	22.0	24.5
税引後当期純利益	6,978	10.0	▲7.9	9,891	12.8	41.7	10,623	11.3	7.4	14,138	13.1	33.1
1株当り当期純利益(円)	92.68	-	-	131.37	-	-	141.09	-	-	187.78	-	-
期中平均株式数(千株)	75,294	-	-	75,294	-	-	75,294	-	-	75,294	-	-

2. 単体経営成績

(単位: 百万円,%)

	2011年8月Q2期			2012年8月Q2期			2013年8月Q2期			2014年8月Q2期		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	60,076	100.0	11.2	66,765	100.0	11.1	73,846	100.0	10.6	83,544	100.0	13.1
売上総利益	35,444	59.0	11.3	40,136	60.1	13.2	43,812	59.3	9.2	49,155	58.8	12.2
販管費合計	23,000	38.3	13.0	24,580	36.8	6.9	26,321	35.6	7.1	28,216	33.8	7.2
広告宣伝費	2,868	4.8	10.5	2,864	4.3	-0.1	2,586	3.5	▲9.7	2,492	3.0	▲3.6
人件費	8,146	13.6	11.5	8,591	12.9	5.5	9,019	12.2	5.0	9,893	11.8	9.7
地代家賃	6,092	10.1	14.3	6,783	10.2	11.3	7,554	10.2	11.4	8,326	10.0	10.2
減価償却費	984	1.6	9.5	1,078	1.6	9.6	1,146	1.6	6.3	1,094	1.3	▲4.5
その他	4,908	8.2	16.0	5,262	7.9	7.2	6,014	8.1	14.3	6,409	7.7	6.6
営業利益	12,443	20.7	8.3	15,556	23.3	25.0	17,491	23.7	12.4	20,939	25.1	19.7
経常利益	11,825	19.7	▲1.2	16,316	24.4	38.0	17,790	24.1	9.0	21,435	25.7	20.5
税引後当期純利益	6,053	10.1	▲21.4	9,160	13.7	51.3	9,780	13.2	6.8	12,569	15.0	28.5
1株当り当期純利益(円)	80.40	-	-	121.66	-	-	129.90	-	-	166.94	-	-
期中平均株式数(千株)	75,294	-	-	75,294	-	-	75,294	-	-	75,294	-	-

3. ABC-MART KOREA 経営成績(期間: 2014年1月1日~2014年6月30日)

(単位: 百万円,%)

	2011年6月Q2期			2012年6月Q2期			2013年6月Q2期			2014年6月Q2期		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	8,812	100.0	40.9	9,428	100.0	7.0	13,506	100.0	43.3	18,065	100.0	33.8
売上総利益	4,687	53.2	39.8	4,724	50.1	0.8	6,862	50.8	45.3	9,293	51.4	35.4
販管費合計	3,406	38.7	41.6	3,671	38.9	7.8	5,276	39.1	43.7	6,394	35.4	21.2
営業利益	1,281	14.5	35.4	1,053	11.2	▲17.8	1,586	11.7	50.6	2,899	16.0	82.8

*1 ABC-MART KOREAは12月決算であります。

4. 国内出店・閉店の状況

	2014年8月Q2期			
	前期末	出店	閉店	Q2期末
路面店	86	1	1	86
商業ビル	100	1	1	100
S C	349	10	2	357
N S C	73	4	0	77
ロードサイド	87	7	0	94
アウトレット	54	1	0	55
計	749	24	4	769

5. 海外出店・閉店の状況

	2014年6月Q2期			
	前期末	出店	閉店	Q2期末
韓国	147	10	3	154
台湾	28	0	1	27
米国	3	1	0	4
計	178	11	4	185

*1 海外子会社は12月決算であります。